



## 第33回 市教組定期大会、開催される！NO.2

今大会で「論議されたもの」です。

### 組織拡大について(小倉南特別支援学校の大山代議員より)

自分が組合に入った時は、組合員数も1000人を超えており、教研や色々な取り組みにも活気があった。また、職員会議などの場でも、おかしなことにはおかしい!と質問や意見など活発な論議があった。昔とは社会情勢や学校現場を取り巻く状況、そして教職員の意識の変化はあると思うが、昔と比べると組合員数の少なさを痛感している。また、今年度の業績評価が来年度の給与に反映される評価制度の導入、定時退校日の設定や行事の削減などと言っているものの、一向に実感のない「業務改善」のことなど厳しい現状が山積で、今後の学校現場はますます厳しくなるのではないかと感じている。執行部のみなさんが教育委員会と色々な交渉を行って、給与の面や勤務労働条件を勝ち取ってもらっていることは承知しているが、組合員はもとより学校現場の全ての職員が働きやすく、児童生徒にとってもより良い学校にするためにも、「数」が必要だ。やはり「数」は「力なり」だ。本校では職員会議や研修会で発言するのはほぼ組合員のみで、先日の主題研修会では自分も質問をさせてもらった。議案書を見ると昨年度行った「全員集会」のような大きな取り組みはないようだが、議案書には「組愛力キャンペーン」など11の内容で組織拡大のことが書かれている。その中でも新しいことや特に力を入れようと考えられている補足の説明をお願いします。



### 岡本組織部長の答弁

人数が増えてきた青年部の活動を盛り上げたい。青年層の悩みを語り合う場としての集まりを計画したり、青年部主催のバーベキュー大会を行ったりしながら、青年層の組織拡大につなげたい。また、本年度は「組愛力キャンペーン」を考えている。教職員組合の必要性や活動内容が一目で分かるリーフレットとポスターを作成した。全校、全教職員に配布する予定である。教育委員会も、このリーフレットとポスターを配布することは、実物も見てもらい確認している。さらに、次年度に向けて「TUNAG(つなぐ)」という組合の情報提供ツールへの登録も考えている。



### (古賀執行副委員長より補足)

東執行委員長の話にもあったように本年度の最重要プロジェクトである「組愛力キャンペーン」について補足する。北九州市内の会計年度任用職員も含めた全ての教職員、6000人分のリーフレットを用意している。0分会の学校には、執行委員で手分けして配布する。各分会員は自分の職場の全教職員への配布をお願いします。ポスターも岩永執行委員作成の素敵なポスターが完成した。このポスターも各学校で、管理職に相談して適当な場所への掲示をお願いします。



NO.13 へつづきます

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください!



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1  
E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp 北九州教育会館 TEL(093)953-0381

